

令和3年11月20日、12月11日、令和4年1月15日の作業の報告です

今回のいただきますの森日記は令和3年11月20日（土）、12月11日（土）、令和4年1月15日（土）の作業の様について、お知らせします。

いただきますの森の定例作業日は、毎月第3土曜日としており、また、その時々で必要に応じた作業を不定期にフレキシブルな日程で参加できる人が参加するというスタイルで作業を行っています。

11月20日は、大豆の脱粒作業と大根の収穫を行いました。脱粒には、郷土文化館からは足踏み式の脱穀機を、古民家からは唐箕（とうみ）をお借りして、先人たちの知恵が凝縮されたような便利な道具を使用しました。完全なる脱化石燃料的機械。動力は人力エネルギーのみです。郷土文化館から安齋学芸員においていただき、温故知新な農機具の説明をしていただきながら作業しました。大人も子どもも総出で作業します。



☞足踏み式脱穀機です。



☞唐箕です。風で粒を選ります。



☞脱粒した大豆を選別します

大豆を脱粒した後は、丸まる太った大根の収穫です。どれも大きくて食べ応えありそうです。

土には学校給食の残渣からできた堆肥を仕込んでいましたが、その威力まさに、恐るべし。でした。



12月11日は第2土曜日でしたが、小麦の種蒔きを少しでも早く行いたいという思いがありましたので、予定を1週早めました。また、この日は、大豆の脱粒しきれていなかった分の脱粒作業と一橋大学の学生団体である「澁澤塾」の皆さんがいただきますの森の作業に参戦してくれるということで城山グラスホッパーズの皆さんに特別招集をかせさせていただきました。

今回は、いただきますの森で取れた小豆を使ったお汁粉のご褒美付きです。

ごみ減量の観点からm y お箸とm y お椀を持参することをお願いさせていただきました。

まずは、小麦の種蒔きです。種を蒔くために筋を付けるように軽く耕耘します。

種は市内の有機栽培農家の方にご厚意でお分けいただきました。感謝に堪えません。いつも暖かく見守り、

ご協力いただきまして、ありがとうございます。

軽く鋤を入れ、北側が高くなるように土を返して、東西方向に筋を付けていきます。

付けた筋に小麦の種を蒔き、ほんの薄く土をかけて軽く押さえます。



脱粒の時に取りこぼした大豆も丁寧に拾います。来年また大豆がたくさん実ってくれることを願いながら。





作業中のみんなの傍らで七輪に火をおこします。

さあ、皆さんお待ちかね。作業の後のご褒美タイム。



ほんのり甘いお汁粉が、作業で程よく疲れたからだに沁み込んでいきます。

小豆の豆の味が際立った、おいしい畑の恵みをいただきました（なお、新型コロナ感染拡大防止のため、手指の消毒等、最大限配慮しました。）。

いただきますの森に初めての新しい年がやってきました。

皆様、あけましておめでとうございます。

令和4年1月15日。第三土曜日の活動日です。

去年はまさに新型コロナウイルス感染拡大防止に明け暮れた一年でした。

城山グラスホッパーズの皆さん、今年も元気に活動していきましょう。よろしくお願い申し上げます。

令和4年最初の活動は、昨年、種蒔きをした小麦や菜花の生長観察、柑橘類の試食と種取り用の大根をさらに選別してその他を収穫します。

主役はいつもどおり、城山バッタ軍団のキッズたち。

かわいらしいミカンとキンカンと子どもたち。



大きくて美味しそうな大根が取れました。



ひとしきり作業したその後で、先日収穫した大豊作の大豆の使い道や今後の活動の見通し、来年度の作業予定等について、少し時間をかけてみんなで話し合いを行いました。

話し合った内容は、以下のとおりです。

城山グラスホッパーズ 検討会記録(第1回)2022.1.15(土)実施 ※メンバーの意見は太字下線表記。

議題1. 大豆の活用法について

【自家用】

○味噌づくり(福祉会館等で2~3月に実施)

【他用】

○市立保育園給食への供給

○小学校、学童保育所での作付け

○市内商店等での販売

○農家に種として提供し作付けしてもらう(くにたち大豆一粒万倍ネットワーク(仮))

議題2. 令和4年度の主な作業予定について

2~3月	麦の観察・話し合い・果樹の観察(必要に応じ剪定)・ミツバチの飼育開始
4月	麦、果樹の観察・草刈り・ミツバチの飼育
5月	麦刈り取り、製粉・果樹の観察・草刈り・ミツバチの飼育
6月	大豆播種・果樹の観察・草刈り・ミツバチの飼育
7月	大豆、果樹の観察・草刈り・ミツバチの飼育
8月	大豆、果樹の観察・草刈り・ミツバチの飼育
9月	大豆、果樹の観察・草刈り・ミツバチの飼育
10月	大豆、果樹の観察・草刈り・ミツバチの飼育
11月	大豆収穫・麦播種・果樹の観察・草刈り・ミツバチの飼育
12月	麦、果樹の観察・ミツバチの飼育
1月	麦、果樹の観察・ミツバチの飼育
2月	麦、果樹の観察・ミツバチの飼育
3月	麦、果樹の観察(必要に応じ剪定)・ミツバチの飼育

議題3. 今後の見通しについて(短~中・長期の目標)

○企画運営

☆多遊潭塾 kuni-project 農業プロジェクトとの連携を強め、企画運営体制をつくる。(短期)

☆多いただきますの森が情報発信や交流の拠点となる。(短期)

☆多社会福祉協議会等と連携を図り、ソーシャルビジネスとして発展させていく。(中・長期)

○組織・ネットワークづくり

☆多有機栽培農家や農業関係者だけではなく、環境、福祉、教育・文化その他の各種主体とのつながりを保持、創出する。(短~中・長期)

☆多有機栽培等による農的な暮らしを目指す方、養蜂のお手伝いをしてくれる方、蜜源植物を育ててくれる方、農から環境保全を実現したい方等々、同志を増やしながらネットワークを広げる。(短期)

○収穫物の活用

☆多当面は議題1のとおり。(短期)

☆多地域の環境保全や生物多様性の向上、温室効果ガス削減等に寄与する立場に立った上で、利益率の高い作物やはちみつ等の収穫、販売を模索する。(中・長期)

○その他(当日議題以外)

☆多有機栽培、自然栽培の意義や役割等の普及啓発を行う。(短期)

☆多いただきますの森で確認できる野生生物等を調査・周知し、理解を深める。(短期)

話し合いの結果は、実現可能性の高いものから着手していきながら、時間をかけて練り上げていった方が良い事柄もみんなで話し合いを続けながら、実現していきたいと思います。

今後も作業の合間にみんなで話し合いを行い、全体的な方向性を確認しつつ、メンバー同士がお互いを理解し合い、各々の考え方や意欲、アイデアなどを共有し実行していけるような集まりになっていくことを目指していきたいと思っています。

次回は、2月19日（土）午前9時30分から、ブルーベリーの挿し木体験と味噌づくり体験の段取りについての話し合いを予定しています。

（文責：生活環境部環境政策課花と緑と水の係 長南）